

1. 背景

- 人口減少社会を迎えた地方都市をはじめとした多くの都市の既成市街地で「都市のスポンジ化」が進行。
 - ▶ 生活利便性の低下や居住環境の悪化等により、コンパクトなまちづくりを進める上で重大な障害に。

空き地等を集約、活用し、賑わい空間の創出へ！

- 今後は、駅前やまちなかの公共交通の徒歩圏など、既存ストックが集積し都市の拠点となるべきエリアにおける都市のスポンジ化対策として、「空間再編賑わい創出事業」等の小規模で柔軟な区画整理手法を活用し、スポット的にでも素早く散在する空き地等を集約し、集約した土地に、地域に不可欠でまちの顔となる医療・福祉施設等の誘導施設の導入を図ることが有効。
- 散在する空き地等の解消と同時に、まちなかの賑わいの核となる集客力の高い空間を創出。
 - ▶ 拠点エリアの吸引力が強化され、コンパクトなまちづくりを推進。

空き地等がランダムに発生

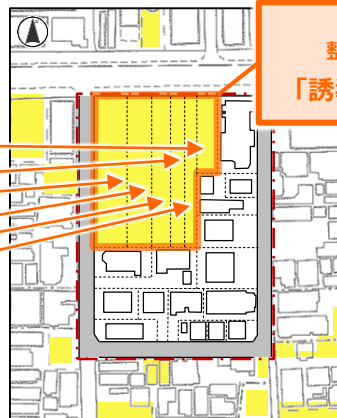
小さく不整形で
使い勝手が悪い
空き地等



■ : 空き地等 〃 : 事業区域

空き地等を集約

誘導施設を
整備すべき区域
「誘導施設整備区」



スポット的にでも区画整理を実施

賑わい空間の創出

整備効果が波及

誘導施設を整備



土地の有効利用が可能に！



2. 基本事項

- 立地適正化計画及び土地区画整理事業の概要

3. 新たな区画整理手法「空間再編賑わい創出事業」の概要

- 都市のスポンジ化対策のための新たな制度である「空間再編賑わい創出事業」の概要
(事業の概要、メリット、要件、事業の流れなど)

4. 「空間再編賑わい創出事業」の活用について

- 「空間再編賑わい創出事業」の活用方法
(特徴・効果・活用地区イメージ、事業の進め方など)

5. 「空間再編賑わい創出事業」のモデルイメージ

- 「空間再編賑わい創出事業」のモデルイメージ
(特徴・効果・活用地区イメージ、事業の進め方など)

6. 集約・再編のための各種制度について

- 従来の集約換地等による土地の集約化や柔軟な区画整理※1、区画整理にこだわらない集約手法※2
※1 敷地整序型、小規模連鎖型、飛び施行、柔軟な区域設定など ※2 低未利用土地権利設定等促進計画

7. 賑わいの創出及び維持発展に向けて

- 賑わい創出のための施設の整備・活用、施設の維持管理手法について※3

※3 エリアマネジメント、
立地誘導促進施設協定など